

事業評価シート(令和4年度事業評価用)

番号 1040014 _ 001

【1.基本情報】

事業名	運動を通じた健康づくり支援					
担当部名	保健衛生部		担当課名	北保健センター		
実施方法	直営		補助等の種類	実施主体	岐阜市	
開始・終了年度	平成	17	年度～	年度	根拠法令・関連計画	介護保険法、健康増進法、高齢者福祉計画、ぎふ市民健康基本計画

【2.事業概要】

目的 (何のためか)	市民の健康寿命延伸を図るため、フレイル予防及び生活機能の低下予防、介護予防の観点から、市民と協働で運動を通じた健康づくり活動及び介護予防活動を地域において展開する。					
内容 (手段・手法など)	フレイル予防、生活機能低下及び介護予防に効果的な「いきいき筋トレ体操」を市民に普及する「いきいき筋トレサポーター」を養成するため、「いきいき筋トレサポーター養成講座」を開催する。さらに講座を修了した「いきいき筋トレサポーター」が地域において「いきいき筋トレ体操」普及啓発活動を円滑にすすめることができるよう研修会等を定期的実施する。また広報等で市民に広く「いきいき筋トレ体操」を普及啓発を図る。					
事業の 対象	何を	いきいき筋トレ体操				
	誰に	1. いきいき筋トレサポーター養成講座参加者(R4年15名)、2. いきいき筋トレサポーター(R4年登録者数301名)、3. いきいき筋トレ体操参加者(R4年参加者延べ数22,766名)				
	どのくらい	1. いきいき筋トレサポーター養成講座(1会場6回×1クール)、2. フォローアップ研修会(8会場×1回)、3. フレイル予防研修会(1会場×1回)、4. 合同調整会議(R4コロナのため中止)、5. 地域活動調整連絡会議(2回)、6. いきいき筋トレサポーター活動数(R4延べ1,678回)、7. 筋トレ体操定期開催会場数(R4.4月現在125か所)				
令和4年度からの変更点 (継続事業の場合)	1. フレイル予防研修会の開催 2. いきいき筋トレ体操普及啓発用DVD、リーフレットの増刷 3. いきいき筋トレサポーター交流会及び体力測定の実施終了					

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和2年度決算額		令和3年度決算額		令和4年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	11,375	350	3,553	110	3,689	116
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	11,375	350	3,553	110	3,689	116

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		1,385	870	939
直接事業費の主な内訳		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
項目	報償費	169	168	257
	消耗品費	506	385	257
	印刷製本費	358	110	143
減価償却費【施設管理】(C)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		1,385	870	939

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
	12,760	4,423	4,628

【4.収入】

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
収入内訳			
国庫支出金	277	174	66
県支出金	173	108	41
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	935	587	832
計(F)	1,385	869	939

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
	11,375	3,554	3,689

【6.コストバランス】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業受益者	市民	市民	市民
受益者数	5,440	7,042	22,766
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	2,091	505	162

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	いきいき筋トレサポーター養成講座・フォローアップ研修会等			単位	回
	令和2年度	令和3年度	令和4年度		
目標値	10	10	18		
実績値	5	1	10		

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	いきいき筋トレ体操参加者延数		単位	人
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	21,240	22,320	22,500	
実績値	5,440	7,042	22,766	
達成状況	×(未達成)	×(未達成)	○(達成)	

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 ①目的が市民・社会のニーズに合っているか ②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) ③類似の事業はないか、あれば当該事業との統廃合はできるか ※【1】【2】から	高	住み慣れた地域で生涯にわたり、心身ともに健康でいきいきと暮らしていくことができるよう、介護予防に取り組む必要がある。「いきいき筋トレ体操」は高齢者が気軽に取り組むことができる運動として広く市民に普及していることから、社会的ニーズに合っている。 市民の健康寿命の延伸を図るため、特にコロナ禍におけるフレイル予防及び生活機能低下・介護予防の観点から、地域住民が主体的に健康づくりに取り組めるよう本市が支援する必要がある。 類似事業はない。
効率性 ①費用対効果 ②他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	いきいき筋トレサポーターは市内ほぼ全域においてボランティアで活動しており、費用対効果は高い。 本市と市民である「いきいき筋トレサポーター」が協働で取り組んでいる。
有効性 ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か ※【2】【7】から	中	R4年度もコロナウイルス感染症の影響で活動を休止する会場もあったが、昨年より参加者数は増加した。養成講座もR3年度に引き続き実施し、R3年度よりも多くの新しい筋トレサポーターが加わった。コロナで地域での筋トレ活動が縮小していたが、今後も筋トレ体操の普及啓発を継続し、高齢者の介護予防に取り組む。
公平性 ・受益者及び受益者負担は適正か ※【2】【6】【7】から	中	いきいき筋トレサポーターによる普及啓発活動は、市内50地区全域において行われており、公平性は保たれている。 その他、いきいき筋トレ体操の動画をホームページにアップし、市民誰もが活用できるようになっている。
〔総合評価〕 ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持：様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	超高齢社会を前に、筋トレ体操会場は、介護予防のための住民主体の集いの場として重要な役割を果たしている。 地域包括ケアシステム構築の一環として今後もこの事業は、現状を維持し、継続する必要がある。